



第1164号  
2010年5月2日発行  
日本聖公会東京教区  
港区芝公園3-6-18  
編集人 英 久子

WEB: http://www.nskk.org/tokyo/index.htm E-MAIL: comm.tko@nsk.org  
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

カパティランでは主に在日フィリピン人とご家族のための電話相談などを行っております。東京教区の皆様に多くのお支えをいただき20年以上活動を続けてきました。しかしこのカパティラン、実は閉塞感で一杯です。昨今の経済低迷は在日フィリピン人の生活にも大きな打撃を与えています。大人の不安や苛立ちが子供にも伝播し、寄せられる課題は複雑で長期化しています。日々の相談にスタッフは懸命に向き合い必要な助力をしますが、果てがありません。またカパティランの資金繰りも厳しく、年間約1千万円の活動費を確保することは年毎に困難なっています。

そのような中でカパティラン運営委員会では基本的な事柄を確認し始めました。自

《み 手 の な か で》  
できることから  
始めてみます

分たち独自の使命、得意とすることや行うべきこと、これ以上行わなくてもよいこと、必要なもの、行き先などを話し合い、カパティランの特性を延ばし、活動を整えようとしています。今与えられている限りある賜物をできるだけ有効に用いて、自分たちらしく神様のお役に立ちたいという前向きな情熱故です。カパティランの目指す社会は誰にとっても住みやすいであろうと夢を描いて実践することによって、力を合わせて閉塞感から突破しようとしています。

5月22日開催のカパティランフェスタ企画もそのひとつです。予算ゼロからの発想で、参加者に楽しんでいただくながら資金確保の一助としよう準備中です。突破した後の広くて新しい世界を楽しみにしながら。

(神愛教会牧師)

- ◇5月の代祷・信施奉献先
- ▽柏聖アンデレ教会のため▽ア  
ジア・エキュメニカル週間  
(5・23〜29)▽名古屋学生青  
年センターのため▽カパティラ  
ンの働きのため▽葛飾学園(サ  
ンピエール・保育園)のため
- ◆とこしえの平安
- 2月19日 竹股 香織(62) 聖三一
- 4月4日 上野 保子(79) 聖テモテ
- 4月10日 小久保温子(91) 聖ガブリエル
- 4月22日 奥田 教幸(94) 聖三一
- 4月22日 秋山 良江(84) 聖三一
- 4月23日 小藤マサエ(92) 聖マルコ

今週・来週の予定  
5月2日~15日

- 2(日) 復活節第5主日
  - 5(水) 下町G：ファミリーピクニック
  - 6(木) 下町G 牧師協議会 教役者会：歓送迎会
  - 8(土) 懇談会「東京教区に求められる主教像」
  - 9(日) 復活節第6主日 主教巡回 練馬聖ガブリエル教会
  - 10(月) フェスティバル・イベント部会
  - 11(火) 銀座朝拝会 常置委員会
  - 12(水) エルサレム教区協働委員会
  - 13(木) 昇天日 生活委員会 信仰と生活委員会 環状G 牧師協議会
  - 14(金) 広報委員会 外濠G 牧師協議会 幼稚園 保育園 懇親会
  - 15(土) 人権：全生園 フィールドワーク
- ▽5月ランチタイム・オルガンコンサート \*聖パウロ14日(金)、長山結、リック・コーマンス \*聖テモテ18日(火)、小野田良子 \*神田キリスト19日(水)、今井奈緒子 各々12時20分から30分程度、入場無料。
- ▽5月銀座朝拝会 11日・25日7時半、喫茶室ルノアール・ニュー銀座。照会 042(7)
- 9(6) 1498・同会世話人。▽5月西新の会 11日19時半 聖餐式(高橋顕司祭)、25日10時半 聖書の学び(加藤俊彦司祭)、会場 井草地域区民センター。照会 03(3951)5010・目白聖公会。
- 「休刊のお知らせ」 小紙9日発行号を制作日程の関係で休刊します(16日号から復刊)。

《掲載記事転用の場合は事前連絡のこと》

## 正義と平和協議会

運営委員会報告 (4月23日)

\*「正義と平和協議会便り」は5月10日発行、16日配布をめざし、内容について検討。寄稿状況と刊行作業の確認。

\*協議会および講演会を、7月17日(土)に聖アンデレホールにおいて開催することを決定。14時〜15時半、講演会「アジアの人びととの連帯―自立支援の現状と課題」。16時より協議会を行う。

\*6月7〜11日に予定されている社会宣教についての韓国への旅に関して、管区から各教区宛に呼びかけが来ている。  
\*その他

## ▽多磨全生園で「ハンセン病

問題を考えよう』(教区「じん

けん週間」プログラム) 5月15日(土) 13時に同園聖フランシス・聖エリサベツ礼拝堂集合。夕の礼拝・お話(藤崎陸安氏)・交流会・ハンセン病資料館見学。照会 Ⅸ042(64

2) 6105・八王子復活教会大森執事宛。

## ▽真光教会の歴史を訪ねる旅

創立135周年を記念して、深川・本所・赤羽の同教会跡を散策し先輩たちの足跡を探る。20日(木)10時、都宮新宿線・大江戸線森下駅A6出口改札集合。交通費・昼食代約3千2百円。申込締切 Ⅱ9日。照会 Ⅸ042(795) 6449・同教会。

## ▽KAPTIRANフェス

タ ボランティアを募集し(小

紙3月21日号で既報、いよいよ22日(土) 11時〜15時に開催。聖アンデレ主教座聖堂およびホール。照会 Ⅸ03(3432) 6449・同事務所。

「主教選挙候補者の推薦理由を聴く会」開催

日時 Ⅱ6月12日(土) 14時〜16時  
場所 Ⅱ聖アンデレホール

\*この会の候補者推薦は「候補者推薦用紙」の提出によります。推薦用紙は5月8日懇談会で配布及び教区事務所に常備してあります。この用紙は6月5日(土)までに東京教区主教選挙特別委員会委員長高橋顕司祭(阿佐谷聖へテロ教会)宛お届けください。  
(東京教区主教選挙特別委員会)

《掲載記事転用の場合は事前連絡のこと》

## 【クローズアップ】 47

## モニカ会は、今

東京教区では、教区聖職候補生及び聖職候補生志願者へ物心両面の支援を行う事と、神学生育成のための機関へ援助を行う組織として、1984年に「モニカ会」が発足しました。

その間多くの聖職候補生(志願者)に図書費(年額60万円)、結婚している方、子どものある方への家族費(年額32万円)を、それぞれ支援してきました。また神学生育成のための機関へ年額50万円を送っています。これは東京教区の聖職候補生だけでなく、神学院の教育と、各教区からの神学生のためにも役立つています。

モニカ会は、教区聖職養成委

員会と聖公会神学院と協同し、どうしたら良き働き手となる聖職を育てられるかを、考えております。信徒の期待する聖職像とは、どんなものでしょうか。『聖書の御言葉の解釈が明確で、分かりやすく話せる。説教が聞きやすく理解しやすい。明るく会話ができる。また、思いやりがある』。などなどの資質が要求されるでしょう。

先の大戦の後、日本に多くの宣教師が来られました。その中にこれらの資質を備え、日本にキリストの御言葉をどのように伝え、宣教の実を挙げようかと努力された方を多く見えています。

また戦争の最中、迫害を受けた聖職方がいかに苦しみ、神の

国を守るために、祈りとともに力を尽くされたかを聞いております。その姿を知っている者にとつては、今の平和な時代に甘えず己を厳しく律し、神から与えられた命を世のために役立たせることを伝えるのが、聖職の勤めだと思えます。

モニカ会は各教会のお祈りのうちに年額約5百万円弱が捧げられ、2009年はそのうち2百50万円が支援に使われました。

今の会計状況は十分に余裕があり、さらに多くの聖職志願者が与えられることを祈ります。また神学校の勉学のみではなく、他のプロジェクトにお手伝いできればとも思います。

東京教区モニカ会  
会長 大久保忠昭